

事例6 地域の食材を用いた学習を通して、郷土料理への関心を高める事例

○学年 第1学年

○主な領域 内容「B衣食住の生活」 (3)「地域の食材を用いた和食の調理」ア(エ)
(2)「中学生の1日分の献立」イ

○事例のポイント

- ①地域の食文化について、インターネットで調べた上で、食育インストラクターの指導による焼きだんご実習を行い、郷土料理に触れる。
- ②食生活についての課題解決を前題材から継続して行うことで、題材を通して学んだことを生かして考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ICTを活用し、短時間で情報共有や実践の修正を行い、学びを深めることができる。

1 題材名 「地域の食文化でおもてなし」 内容B(3)ア(エ)(2)イ

2 題材について

(1) 生徒について (略)

(2) 題材について

この題材は、B「衣食住の生活」(2)イ(3)ア(エ)の関連を図っている。題材の始めに、これまで学習した内容をもとに、自分の食生活について問題を見いだして課題を設定し、地域の食文化に関わる知識・技能を身に付ける。さらに、課題を解決する力や自分で考えた献立を家庭で実践するために工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。

所沢市の食文化は粉食文化である。うどんやすいとん、ゆでまんじゅうや焼きだんごなどが挙げられる。この中で焼きだんごだけが、米粉を使用する。昔、耕地は水田が無く、陸稲(おかぼ)作りが始まった。お米とは言っても硬質米で、おいしく食べるために粉にしてだんごにしたのが始まりだという。題材計画の中で食育インストラクターの指導による焼きだんごの実習を行い、地域の食材のよさや食文化について理解させ、適切な調理技術を身に付けさせたい。

編P126 指導計画
作成の留意事項(4)

(3) 指導について

題材ごとの学びを振り返り、課題解決を継続的に図るためにも学習の記録として振り返りシートの記入をする。本題材では、地域の食材を用いた献立作成を行うが、前題材にて献立作成の方法を学んだことや、自分の食生活をタブレットで写真を撮って、まとめたことなどを生かせるように指導する。

ICTの活用としては、カメラ、インターネット検索、Google Classroomを使う。第1時での、インターネットによる調べ学習では、埼玉県農産物全国トップ10を調べ所沢産の農産物が多いことに気付かせたい。第4時から、1食分の献立をタブレットで編集し、地域の食材を用いた汁物もしくは煮物を取り入れた献立を作成する。作成した献立については、小グループで発表を行い、実際に調理実習を行う献立を一つ決める。その献立は、自宅で調理することを課題として献立作成や調理計画の改善を考えさせたい。

なお、献立作成については前題材において学習済みである。生徒各自が3日間の食事内容をタブレットのカメラ機能で撮影して振り返り、自分の食生活における問題点を見いだした。それをもとに、栄養教諭が作成した栄養計算スプレッドシートを用いて望ましい献立を作成した。その際栄養教諭から、中学生に特に必要な栄養素に関することや給食の献立を作成する際に注意していることなどについて話を聞いている。本題材では、小学校で学習した献立作成、さらに前題材での献立作成を受けて、地域の食材を用いた献立を考えることを意識させていきたい。

編P126 指導計画
作成の留意事項(3)

3 題材の目標

- (1) 地域又は季節の食材を用いる意義に気付き、自分の住む地域の食文化について理解する。
 〈知識及び技能〉
- (2) 日常の1食分の献立について、地域又は季節の食材を用いた献立、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 日常食の調理と食文化について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し実践しようとする。
 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域又は季節の食材を用いた食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	日常の1食分の調理における調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、1日分の献立や日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

5 題材の指導と評価の計画 (6時間扱い)

小題材	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
所沢市の食文化を見つめよう	1	○所沢市の食文化や地域の食材について調べて、地域のよさを理解することができる。 ・各自ICT端末を用いて、所沢市の食文化と生産が盛んな食材について調べてまとめる。 ・所沢市の粉食、焼きだんごについても調べてまとめる。 ・地域又は季節の食材を日常食に扱うことで、どのようなよさが生まれるかを考える。	①所沢市の食文化や地域の食材が分かり、地域又は季節の食材を日常食に用いるよさを理解している。 ・ワークシート	①自分の食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・ワークシート	①1食分の献立作成について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ポートフォリオ ・行動観察
地域のプロフェッショナルから学ぼう 「所沢焼きだんご作りに挑戦！」	2 3	○地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・所沢市の米粉を用いて、焼きだんご作りの実習を行う。 ・講師の方から、所沢市の食文化について話を聞く。 ・前時に調べた食文化との関連や、追記があれば記録する。	②地域の食材を用いた焼きだんごの調理が適切にできる。 ・行動観察		

地域食材を生かした献立の調理計画を考えよう	4	<p>○地域又は季節の食材を用いた夕食の献立について工夫して考え、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における献立作成の方法（主食、主菜、副菜）を振り返る。 ・これまでの授業をもとに、自分の食生活の課題と所沢市の食材を用いた1食分の献立を作成する。 ・1日に必要な食品の摂取量の目安を参考に、朝・昼の献立は統一で指定し、補う形で夕食の献立（汁物もしくは煮物を扱う）を作成する。 		<p>②夕食の献立作成について、考え工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	
	5 本時	<p>○自分が考えた献立について、グループ内で発表をし合い、内容を評価・改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末を用いて、グループ内で発表し合い、評価をする。 ・自分の献立について、評価をもとに改善点を考える。 		<p>③1食分のよりよい献立作成について、評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 	<p>②1食分の献立作成について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・行動観察
	6	<p>○グループごとに一つ献立を選び、よりよい調理計画について、評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の発表をもとに、選んだ献立の調理計画について話し合い考える。 ・ICT端末を用いて調理計画をまとめる。 ・冬休みの課題として、自宅で調理することを踏まえ詳細に計画を立てる。 		<p>④1食分のよりよい献立作成について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 	<p>③1食分の献立作成について、工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・行動観察

6 本時の学習指導（本時 5 / 6）


(1) 目標

- ・地域の食材を用いた1食分の献立について、評価したり改善したりできる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・地域の食材を用いた1食分の献立について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)		
10	1 本時の学習課題を理解する。献立について、発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の続きとして、ICT端末を用いて献立の発表準備をする。 ・発表方法や話し合いの留意点を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習課題 地域の食材を用いた献立をつくるために、どのような工夫をしたらよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に個人で献立作成した際に、できるだけ地域の食材を用いるように助言したので、アドバイスをする際に地域の食材を提案できるとよいと説明する。 		
20	2 グループで発表し合い、それぞれの課題について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの献立について、グループ内で評価し合い考えを深めたり広げたりし、よりよい献立になるように改善できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇1食分のよりよい献立作成について、評価したり、改善したりしている。【思考・判断・表現】(ワークシート、行動観察)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を用いた1食分の献立を作成し、他の生徒に発表し、評価・改善ができる。 →評価については、ワークシートに基準を示し、相互評価をしやすいとする。 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末上で作成ができない生徒には、ワークシートを用いて発表できるようにする。 	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を用いた1食分の献立を作成し、他の生徒に発表し、評価・改善ができる。 →評価については、ワークシートに基準を示し、相互評価をしやすいとする。
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を用いた1食分の献立を作成し、他の生徒に発表し、評価・改善ができる。 →評価については、ワークシートに基準を示し、相互評価をしやすいとする。 			
15	3 評価・改善をもとに、献立を修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを受けて献立を見直し、修正する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント③ ICT端末上で見直しを行うことで、修正まで素早く取り組むことができる。</p> </div>		
5	4 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が課題について振り返り、学習カードに記入する。 ・次時は、調理計画についてグループで考えることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇1食分の献立作成について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(ポートフォリオ、行動観察)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて献立作成で見直して、修正できている。 →これまでのワークシートの内容を確認し、修正することを書けるように助言する。 </td> </tr> </table>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて献立作成で見直して、修正できている。 →これまでのワークシートの内容を確認し、修正することを書けるように助言する。
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて献立作成で見直して、修正できている。 →これまでのワークシートの内容を確認し、修正することを書けるように助言する。 			

編P126 指導計画作成の留意事項(4)

編P126 指導計画作成の留意事項(1)

③ ICTを活用し、短時間で情報共有や実践の修正を行い、学びを深めることができる。

○個人で考える時間を取った後、グループで話し合いながら、すぐにデータの修正ができる。

○生徒の画面を教室の大型テレビで共有するとより効果的である。

※データの入力方法の説明時間や、機器の不具合が起きたときの対応を含め、時間に余裕をもつとよい。

